

日蓮大聖人御書全集

じみようあまごぜんごへんじ

持妙尼御前御返事

新版
1970
〜
1971

じみようあまごぜんごへんじ

持妙尼御前御返事

けんじ

ねん

がつ

にち

さい

くぼのあま

建治 2 年 ('76) 11 月 2 日

55 歳

窪尼

ご 僧

膳

料

おく

た

そうら

お

御そうぜんりよう、送り給び候了わんぬ。

こにゆうごうどの

隠

ひ

すでに故入道殿のかくるる日にておわしけるか。とこ

紛

そうら

打

忘

そうら

まぎれ候いけるほどに、うちわすれて候いけるなり。よ

忘

たま

も、それにはわすれ給わじ。

そ ぶ

もう

兵

かんおう

おんつか

ここく

もう

くに

蘇武と申せしつわものは、漢王の御使いに胡国と申す国

い

じゅうくねん

妻

夫

離

忘

に入つて十九年、めもおとこをはなれ、おとこもわするる

恋

ころも

あき

ことなし。あまりのこいしさに、おとこの衣を秋ごとに

砧 上 打 思 通
きぬたのうえにうちけるが、おもいやとおりてゆきにけん、

おとこのみみにきこえたり。

陳 氏

者

妻

夫

離

鏡

ちんしといいいしものは、めおとこはなれけるに、かがみを

割

取

忘

とき

鳥

飛

さ

わりて、ひとつずつとりにけり。わするる時は、とりとび去

りけり。

相思

者

夫

恋

墓

そうしといいいしものは、おとこをこいて、はかにいたり

き

そうしじゆ

もう

き

だいたう

渡

て木となりぬ。相思樹と申すはこの木なり。大唐へわたる

志 賀

みようじん

もう

かみ

夫

唐

行

に、しかの明神と申す神おわす。おとこのもろこしへゆき

恋

かみ

島

女

似

しをこいて神となれり。しまのすがた、おうなににたり。

まつらさよひめという、これなり。

古

今

至

親子

別

しゅじゅう

いにしえよりいまにいたるまで、おやこのわかれ、主従

辛

夫

女

のわかれ、いづれかつらからざる。されども、おとこおんな

別

尊

かこおんのん

妻

のわかれほど、たつとげなかりけるはなし。過去遠々よりめ

み

夫

しやばさいご

善

知

識

の身となりしが、このおとこ、娑婆最後のぜんちしきなり

けり。

散

花落

果

咲

結

故ひと

かえ

ちりしはなおちしこのみはさきむすぶいかにこ人の返ら

ざるらん

去年

憂

今

年

辛

つきひ

思

晴

こぞもうくことしもつらき月日かなおもいはいつもはれ

ぬものゆえ

ほけきょう だいもく

唱

法華經の題目をとなえまいらせて、まいらせ候。

進

そうろう

じゅういちがつふつか

十一月二日

にちれん

日蓮

かおう

花押

じみようあまごぜんごへんじ

持妙尼御前御返事